

目次

理事長挨拶 01

ふれあいまつり開催 02

神経内科・亀田Dr.紹介 03

部門・認定看護師紹介 04

スタートダッシュ、そしてハードル走

地方独立行政法人新小山市市民病院は、文字通り市からは“独立”して、病院事業の運営と経営を任されていますが、実はお目付役がいて、しっかり監視されています。市長から委嘱された医療、病院運営、経営の各方面の外部の専門家や市民の代表から構成されている評価委員会がその役目を担っています。具体的には、地方独立行政法人の発足時に策定された4年間の中期計画に照らし合わせて、“新市民病院再建”の進捗状況が病院事業の細部にわたって点検されます。このほど中期計画初年度の決算が確定しましたので、評価委員会から「平成25年事業年度の業務実績に関する評価」が下されました。

平成25年事業年度の業務実績としての全体評価は、中期目標・中期計画の達成に向けて計画通り進んでいると評価されました。中核病院として地域医療連携を維持・強化しつつ、入院・外来診療において計画を上回る実績をあげ、結果として単年度黒字を計上したことから、法人の公共性及び経済性を両立させた健全経営が行われていると判断されました。

当初、独法化初年度をスタートダッシュの年と位置づけて、あらゆる面で病院機能の改革・向上に積極的に取り組んできた私たちの努力が実を結んだと考えています。平成28年1月の開院に向けて、新病院の建設は今のところ順調に進んでいます。現在の老朽化した病院において、中で働く職員の大半も今までと同じままで、それなりの実績を出せることがわかりました。

本当の勝負は、実はこれからが本番です。今年から国の医療政策が大きく動きます。今後、我が国は、団塊の世代が75歳に達する2025年に向けて、高齢の慢性患者さんが急増します。急性期の患者さんをきちんと診療できない病院は、行政や診療報酬制度の手法を用いて、慢性期の病院に変わるように誘導されます。新小山市市民病院が地域の急性期中核病院として機能する為には、医師・看護師のさらなる増加、産婦人科など休止している診療科の再開など、困難なハードルをいくつも乗り越えなければなりません。

我々は、医療政策の変化や診療報酬体系の変更に合わせて、病院運営を行っていきます。そして、地域のニーズを見極めながら、市民の皆様にとって、“一番身近な頼りになる病院”となるよう励みます。これからも、絶大なるご支援のほどお願い申し上げます。

平成26年9月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田和幸

TOPICS

新病院 進捗状況

8月現在の新病院建設事業の進捗状況は、病院本体工事では、5月から開始した基礎工事を継続して施工しており、工事の進捗に併せて、1階床躯体の施工も始まりまし

た。又、病院北側に配置するエネルギーサービスセンター工事も、継続して基礎及び地下躯体工事を行っておりますが、地下湧水の影響があり、後工程工事と調整を図りながら工事を進めて参ります。

今後のスケジュールは、本体は、9月中旬に基礎・1階床躯体工事が完了し、9月下旬から鉄骨工事に入ります。エネルギーセンターは、10月中旬に基礎・1階床躯体工事が完了し、10月下旬から鉄骨工事に入る予定です。

婦人科外来を
拡充いたします。

当院、婦人科外来診療におきましては、火曜日・木曜日の予約患者のみとさせていただきます。皆様にご迷惑をおかけいたしました。

この度、下記要領で外来拡充の運びとなりましたので、お知らせいたします。

詳細が決まり次第、院内掲示・ホームページ掲載等で周知いたしますので、よろしくお願いたします。

1. 診療開始日 平成26年10月より
2. 診療日 月曜日～金曜日の毎日
3. 受付窓口

医事課 ☎ 21-3800(代表)

医師・看護職員を
募集しています。

～私たちと一緒に働きませんか～

当院では、医師・看護職員を募集しております。院内保育所も整備されています。

ご連絡をお待ちしております。

① 医師募集

地域に根差した病院をめざし“病院力”を高めるため、当院では新病院に向けて、只今積極的に医師の採用を進めております。

地域医療に興味のある方、そろそろ地元に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせください。

② 看護職員

平成26年度第3回採用試験

試験日:12月10日(水)

対象者:助産師、看護師

応募期間:9月1日(月)～11月28日(金)

③ 薬剤師(正規職員)

④ 薬剤師・診療放射線技師(臨時職員)

※各職、詳細につきましては

下記までお問い合わせください。

(問い合わせ先)

総務課人事厚生係 ☎21-3886

地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0028

栃木県小山市若木町1-1-5

☎0285-21-3800(代表)

http://www.hospital-oyama.jp

https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital





第3回

新小山市民病院 ふれあい祭り



日時 平成26年10月5日(日) 10:00~15:00

会場 新小山市民病院



☆イベント☆

☆ミニ講演会(無料)☆

- ① 10:45 ~ 11:15 「人間ドックの重要性
～当院の人間ドックの特徴～」
新小山市民病院 健診センター所長 中野 真宏 先生
- ② 11:30 ~ 12:00 「血管を強くする減塩法」
新小山市民病院 栄養管理部門 佐藤 伸彦 管理栄養士
- ③ 13:15 ~ 13:45 「認知症とものわすれについて」
新小山市民病院 看護部 青木 千江美 看護副部長
- ④ 14:00 ~ 14:30 「脳卒中予防のお話」
新小山市民病院 看護部 大出 悦子 看護部長

- ★オープニングセレモニー
旭小学校(ハンドベル)9:50～
- ★各種医療相談コーナー
- ★各種医療体験コーナー
- ★新小山市民病院紹介コーナー
- ★バザー
- ★模擬店 うどん・焼きそば・わたあめ
フランクフルト・ポップコーン
チョコバナナ等の販売
- ★エンディングセレモニー
栃木ジュニアオーケストラ



内容	場所	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
●オープニングセレモニー 旭小学校(ハンドベル)9:50～	会計待合室	●					
●医療ミニ講演会(4テーマ 各30分)	別館2F会議室		①	②		③	④
●展示	■栄養コーナー(フードモデルの展示)等	展示	●				
	■新小山市民病院建設展示	北棟1階外来	常時展示				
	■新小山市民病院情報コーナー						
	■臨床工学士のお仕事						
	■診療情報・Drクラークの紹介						
■裸眼で見える3Dの紹介	3D-デモ	●		3D-デモ	●		
●体験コーナー	■人間ドック受診相談	●					
	■各種検査項目相談	●					
	■お薬相談・調剤体験	●					
	■育児相談	●					
	■よろず(何でも)相談	●					
	■臓器移植に関する案内	●					
	■相談コーナー(脳卒中・認知症・がん・摂食嚥下等)	別館2F図書室	●				
	■白衣・術衣 体験	北棟1階外来	●				
	■看護体験(血圧測定・BSチェック・心音聴診)	別館1階	●				
	■手洗いブラックライト体験	北棟1階外来	●				
●その他イベント	■調剤体験	北棟1階外来	●				
	■車椅子等体験	玄関入口	●				
	■顕微鏡 体験	北棟1階外来	●				
	■動脈硬化測定		●				
	■エコー体験		●				
	■内臓脂肪測定		●				
	■バザー	屋外特設会場	●				
	■農産物直売所		●				
	■ゲームコーナー/輪投げ		●				
	■模擬店		●				
■日清医療食品コーナー	玄関入口	●					
■各種クイズ	会計待合室	美しくやせよう	ながやまクイズ	○×クイズ	診療情報クイズ	●	
■地域医療教育センターの紹介	北棟1階外来	●					
■「小山の地域医療を考える市民会議」コーナー	★「おやまくま」がやって来る ☆おやまだいすキッズによるチアダンス	●					
●エンディングセレモニー 栃木ジュニアオーケストラ	会計待合室	●					

※ 開催時間・内容が変更になる場合もあります。

スランブラリー参加で新小山市民病院オリジナルグッズ(先着順)をプレゼント!!

大切な人が倒れないために、倒れたときに

9月より新たに着任されました「神経内科 亀田知明 先生」からのメッセージをご紹介します。

脳卒中とは？

脳の血管が破れるか詰まるかして、脳が壊死して、まさに突然に倒れこんでしまう怖い病気です。命を奪うことがあるだけでなく、治療後も重い後遺症に苦しむことがあります。介護が必要になる病気の第一位であり、また病院に緊急入院する病気の第一位でもあり、「最も身近にある危険な病気」と言えます。

脳卒中を疑ったら？

できるだけ早く診断をつけて治療することが大切です。たとえば脳梗塞では、血管が詰まったあと、時間が経つにつれて脳はどんどん壊死して元に戻れなくなっていきます。できるだけ早く、TPAという血栓を溶かす薬を用いて、血液を再び脳に送り届けることができれば、後遺症を最小限にとどめることができます。実際にこの治療を受けた患者さんの3人に1人は、何の障害もない状態にまで回復できるようになります。

脳梗塞の症状は？

早くに受診するためには脳梗塞の症状を知っておかなければなりません。そこで「顔・腕・言葉ですぐ受診」という言葉を覚えてください。片側の顔の麻痺（口が垂れる）、片側の腕の麻痺（万歳ができない）、呂律が回らないという症状は脳梗塞に特徴的な症状です。家族や友人の「顔・腕・言葉」の異常に気付いたらすぐに救急車を呼んでください。

「脳梗塞は一刻を争う病気」であり「時間との勝負」です。

脳卒中の予防は？

最後に、そもそも脳卒中は予防できるものでしょうか？脳卒中の2大危険因子は「高血圧」と「心房細動」という不整脈です。どちらも生活習慣を整え、早期に発見して適切な治療を受ければ多くの脳卒中を予防できることがわかっています。

「顔・腕・言葉」ですぐ受診！



私は、脳卒中の救急から予防に至るまで、最善の医療を提供できるよう最大限努力していきたくて思っております。市民の皆様大切な人が倒れないために、倒れたときに、早期治療のご協力を宜しくお願い致します。



「1泊2日人間ドック」開始

10月1日より「思川温泉(小山市喜沢)」とコラボレーションし、ゆっくり心と体を癒しながら人間ドックを受診できる宿泊プランコースを開始します。

人間ドックは、生活習慣病やがんの早期発見を目的とし、一般の健康診断より充実した検査が受けられる精密、多彩な内容の健康診断です。「1泊2日人間ドック」の特徴は、がんの早期発見と動脈硬化が及ぼす疾患の予防に着目し、血管脈波測定(PWV)をはじめとして、内臓脂肪測定(DUALSCAN)、糖尿病診断検査(ブドウ糖負荷試験)、ピロリ菌抗体検査(内視鏡検査コースのみ)や、男性の方はPSA検査(前立腺腫瘍マーカー)女性の方にはCA125検査(卵巣腫瘍マーカー)を特別基本コースとして検査項目を充実しました。昼食には「おやまの恵み御膳」をご提供。個人に合わせた健康相談・栄養相談・運動療法など専門スタッフがアドバイスもいたします。

また、思川温泉(宿泊先へ送迎あり)で、ゆったりした思川の流れと自然を眺望しながら、天然温泉やログハウスの檜露天風呂を満喫して頂けます。1組2名様から5名様まで申し込み可能です。ご夫婦、友人、職場のグループ、ご両親へ人間ドックと温泉宿泊のプレゼントなど、皆様のご利用をお待ちしています。



おやまの恵み御膳

健診センターでは、中野所長を中心として予防医学に取り組んでいます。なかでも塩分の過剰摂取がもたらす血管の変化やがんや骨粗しょう症など、予防医学の観点から、人間ドックの食事の開発に取り組みました。「おやまの恵み御膳」は、“血管の老化防止と体に優しく美味しい減塩食”をコンセプトに島田理事長が命名。新鮮な小山の地元生産の農作物を数多く取り入れ、素材の良さと天然だしの旨みでカロリー、塩分ともにバランスよく仕上げています。「健康日本21」では、1日に30品目の食材と野菜を350g以上摂取することを推奨していますが、「おやまの恵み御膳」では、39品目の食材と210g以上の野菜を1食で摂取できます。

是非当院の人間ドックで、日常の塩分摂取量や身体状況を把握しながら、アンチエイジングで減塩食を感じさせない「おやまの恵み御膳」を体感、ご賞味いただけますよう、市民の皆様のご利用をお待ちしております。

エネルギー：641kcal
塩分：2.7g

※季節や仕入れにより内容が変更になる場合があります。



このコーナーでは、各部署の紹介を行います。

臨床工学部門

☆ 新小山市民病院健康講座 ☆ ～健康な生活を送るために～

当院会議室にて、市民向け健康講座を開催いたします。

最新の医療について、当院の講師陣がわかりやすく説明いたします。ここでしか聞けない貴重な話が盛り沢山です。

皆様のご来場、心よりお待ちしております。

11/8 (土) 『明日から役に立つ食事療法』

健診センター所長 中野 真宏 先生

～ 太らない食べ方 ～

栄養管理部門 佐藤 伸彦 管理栄養士

～ 健康体 体と心が若返る ～

リハビリテーション部門 小川 澄恵 主任技師

12/6 (土) 『認知症と物忘れについて』

看護部 青木 千江美 看護副師長

開 場：13：30～

開 演：14：00～15：30

定 員：40名

場 所：当院 別館会議室

参加費：無料

お問合わせ先：総務課総務係 ☎21-3868

近年の医療現場においては医療機器がないと成り立たないと言っても過言ではありません。しかし医療機器の進化は日進月歩で、多くの医療スタッフはそれに追いつくことができません。たとえ優れた医療機器を使用しても、正確な操作及び正常な動作をしなければ危険な状況となってしまいます。そこで医療機器の操作・保守点検の専門家として私たち臨床工学技士が必要となります。

臨床工学技士は医療系の資格の中では比較的新しく、当院では、2012年に臨床工学室が新設され、現在9名が在籍しています。医療機器の管理、事前の点検はもちろん装着中の人工呼吸器管理、他にも心臓カテーテル検査、ペースメーカー、血液浄化療法などにも携わっており、手術室や重症室など活躍の場を拡げています。



認定看護師の紹介

新たに「乳がん看護認定看護師」と「認知症看護認定看護師」の2名の認定看護師が誕生しました。

当院では、すでに6名（脳卒中リハビリテーション、感染管理、摂食・嚥下障害看護、皮膚・排泄ケア、がん化学療法、緩和ケア）が活動しています。今後もそれぞれの分野で、患者さんやご家族が安心して治療を受けられるよう活動していきたいと思います。

がん化学療法認定看護師 寺門 裕子

抗がん剤治療を受ける患者さんやその家族の方へ、抗がん剤治療の正確な情報を提供し、選択した治療が「安心・安全・確実」に受けられるよう、外来で看護実践をしています。また、「安全・安楽・確実」な治療を提供するための環境整備や、薬剤の特性を理解した支援を行うための治療システムの整備をしています。

患者さんの病気や治療に対する思いに寄り添いながら、その人らしい生活を送ることができるよう活動していますので、お声かけください。

緩和ケア認定看護師 栃木 由恵

患者さん一人ひとりの意思を大切にしながら、患者さんやご家族が抱える様々な苦痛を緩和するケアの提供をしています。患者さんやご家族の揺れる心に寄り添いながら、疼痛マネジメントやその他の症状緩和を図ったり、診断や治療、病状の進行に伴う不安などが少しでも緩和できるよう精神的な支援を実践したりしています。

病院全体で質の高い緩和ケアが提供できるよう、チーム医療の推進を図っていきたいと思っています。

乳がん看護認定看護師 鈴木 孝枝

病棟では、手術を迎える患者さんに対しての精神的ケアや術後の生活指導、補正下着の選び方、リンパ浮腫予防指導を行っています。外来（水曜日）では、診断時の精神的フォローや治療選択における意思決定支援、治療に伴う有害事象の症状緩和に向けての支援などを行っています。

様々なケアを通して患者さんの疑問の軽減を図り、よりよい療養生活を送っていただくための情報を提供し、患者さんが乳がんと共に生きていくことを支えていきます。

認知症看護認定看護師 青木 千江美

- ①高齢者の患者とその家族の不安やニーズを把握し、その人らしい療養生活が送れるような環境を整えます。
- ②認知症の発症から終末期までの、各期に応じたケアの実践と介護家族のサポートを行います。
- ③認知症のBPSDの予防と緩和を行います。
- ④認知症看護の相談や指導を行います。

平成26年10月からは、神経内科の医師と協力し、物忘れ外来（仮称）も始めたいと思っています。